



イルカ通信

隔月1回発行
PDF版は無料でダウンロード
できます
(下記参照)

2007年2月1日 No.016

小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA)

小笠原で暮らすイルカたち

「嫁島の親離れしたイルカ」



親離れした#173

嫁島に行くといつも出会う親子イルカがいます。母親は個体識別番号#157、子供は#173でメスのイルカです。子供は口元の一部が上向きになっていることから(写真参照)、イルカ調査隊ではミカワ(美川憲一)と呼んでいます。親子は嫁島で調査をはじめた2005年7月に確認され、以来親子一緒にいるのが目撃されています。しかし、2006年8月を最後に親子一緒にいる姿を見ることがなくなりました。翌9月に母親の姿を2回確認しましたが、子のミカワは発見されませんでした。「ミカワはどこかに移動したのか・・・それとも、死んでしまったのか・・・」と心配していました。ところが2006年12月、嫁島にて別の大人のイルカ2頭と一緒に泳いでいるミカワを発見しました。無事、親離れできたようですね。

「傷だらけのイルカ」

イルカ調査隊では2006年12月現在で172頭ものミナミハンドウイルカを個体識別しています。最近、新しく発見されるイルカは数少なくなってきました。ところが2006年11月、体に丸い傷を10数カ所も負っているイルカ(個体識別番号#213)を発見。写真にある左側面だけでなく、右側面にもたくさんの丸い傷を負っていました。背びれや尾びれにも特徴的な大きな欠損があり、イルカ調査隊ではこれまで確認されていない、新しく発見した個体であることが分かりました。この丸い傷はダルマザメという小さなサメがかじりとった跡です。ダルマザメはこのようにイルカやクジラ、ときにはマグロの体の一部をかじってエサにしているのです。何とも痛々しいですが、この傷はやがて回復します。しかしその後も、傷跡として残ることから、イルカを個体識別する上で重要な手がかりとなっています。



傷だらけの#213

ザトウクジラ・ウォッチングのシーズンです!

くじらの陸上観察会

期間 2月7日(水)~5月2日(水)
日時 おがさわら丸父島入港日
16:00~
場所 三日月山展望台(カザ-ステーション)

くじら博士のナイトレクチャー

期間 3月5日(月)~4月30日(月)
日時 おがさわら丸父島入港翌日
19:30~
場所 ビジターセンター(レクチャールーム)

ビジターセンター特別展 「ザトウクジラ展」

期間 3月4日(日)~
場所 ビジターセンター
お問合せ 2-3001
入館料は無料です。



小笠原ホエールウォッチング協会
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町

URL <http://www.ogasawara.or.jp/owa>
Tel 04998-2-3215 e-mail owa@h6.dion.ne.jp